

## 台北モーニングカップ 2024 報告書

国際親善部 春吉恵美

2024年3月26日(火)～4月1日(月)まで台北体育館にて【2024年52届世界清晨盃】が開催された。今年は例年より開催日が一日長くなり1週間の遠征となった。

総参加者数4,753名、内外国人選手1,448名、計22か国からバドミントン愛好者が集まった。男女ダブルス、シングルス、混合以外に、夫婦や親子、孫と祖父母ダブルスなど楽しそうな種目もたくさんあった。

今回大阪府レディースバドミントン連盟より3ペアが出場。

結果は以下の通り、全エントリー種目でメダルを獲得という素晴らしい結果を残すことができた。

- ・合算110歳 甲組 竹田・希有組 優勝
- ・合算100歳 甲組 羽生・山内組 三位
- ・合算100歳 乙組 池田・春吉組 準優勝
- ・年齢別50歳 甲組 竹田・希有組 優勝
- ・年齢別50歳 乙組 池田・春吉組 優勝



この大会も毎年進化していると感じるが、今大会は全コートにカメラが設置されておりyoutubeにてライブで試合を観戦することができた。アーカイブも残っており、当日見ることができなかった試合も確認でき、翌日の対戦相手のリサーチも出来た。素晴らしいシステムだが、国際親善にて採用するにはまだまだハードルが高そうだ。見事な逆転勝ちの竹田理事長の年齢別の決勝戦は是非見ていただきたい一戦だ。

空港からホテルに到着すると国際親善大会でおなじみの方の出迎え受け、たくさんの方から温かい歓待をいただき、台湾と日本の強いつながりを感じた1週間だった。

また、試合会場では、国際親善大会の記念Tシャツを着た香港や韓国の選手とも会うことができ、「今年の国際親善はいつあるの?」と今から楽しみにしている声も聞いた。

大会終了後はさよならパーティが盛大に開かれ、大会期間中にはお会いすることがなかった人たちも全員集合、ここでもしっかり招致活動。今年の国際親善大会に新たに2か国が参戦の意向を示してくれた。

今回の遠征ではeSIMを購入。SIMカードを入れ替えることなく台湾でも携帯を使用することができ、とても便利だった。また、GoogleMapを使えばバスや地下鉄も簡単に乗ることができるので、言葉がわからなくても十分楽しめるのではないかと感じた。

